

## 令和3年度（2021年度）第2回「柏崎市男女共同参画審議会」議事録(概要)

日 時 令和3年（2021年）11月11日（木）15:00～17:00  
会 場 柏崎市役所4階 4-3、4-4会議室  
出席委員 上野委員、倉田委員、小山委員、関委員、田村委員、長野委員  
平野委員、村山委員 8人  
(欠席：愛場委員、板羽委員、片山委員、杉山委員)  
事 務 局 人権啓発・男女共同参画室  
室長 宮崎、主幹 宮川、係長 五十嵐、主任 真貝  
概 要 男女共同参画基本計画推進状況報告書の評価についての協議、検討と令和3  
(2021)年度事業計画の確認

### 1 開 会

### 2 人権啓発・男女共同参画室長あいさつ

### 3 会長あいさつ

### 4 委員紹介（第1回欠席者のみ）

### 5 議 事

#### (1) 男女共同参画基本計画推進状況報告書の評価について

(事務局から資料1、参考資料について説明)

議長 資料No.1を見て、自分の意見が自分の意図どおりに書いてあるかをまず確認してほしい。また、ほかの人の意見とまとまっているのはどうか、見たときにわかりにくいなど言っていただきたい。  
これから重点目標ごとに評価・意見をまとめていく。

#### 基本目標Ⅰ：男女共同参画への理解の促進、重点目標1：男女共同参画の意識づくり

議長 資料No.1の2ページ、3ページです。まず、質問についての回答を事務局に求めます。

事務局 3ページで『事業No.2の「重点目標に対する効果・成果及び課題」欄中、「課題」に「平成25年に作成した手引きの見直し」とありますが、「令和3年度の事業計画」に入れないのはどうしてか疑問に感じました。』ということで、人権啓発・男女共同参画室で男女に偏ったイラストにならないように公的広報の手引きを職員が見れるパソコンで周知をしていることについての質問です。これは、職員に対しての内部的な周知であり、事務としては進めていくが計画には載せていない。もう1点、質問ではないが、委員からいただいた意見で気になったところがある。2ページの下から3番目の2行目に「特にコロナ禍で柏崎フォーラムの開催ができない中」とある。この柏崎フォーラムは、市が市民会議に委託をして実施していた事業であるが、事業峻別で令和元年度から実施しておらず、今現在柏崎フォ

ーラムというものはない。この表現をそのまま載せておいて良いか疑問に思うので、意見をいただきたい。同じような事業で親子わんだーランドや公開講演会を実施しているが、市民会議の事業である。

議長

意見を伺います。

上から2番目の「講演会には、もともと興味関心のある人しか参加しないと思う。開催時間等を検討し、また、参加した人がどう広げていくかも大事である。」のところで、参加した人は何をどう広げるということか。参加して聞いた内容を周囲に広げるということか、それとも自己啓発の中での自分の中でどう広げるということか。ここが委員の意図がとれなかった。

事務局

欠席委員です。

議長

後ほど確認をしてください。

5番目が、いきなり「例えば」と入っている。恐らくその上の文と一緒に思うので、上の文とあわせて文言を変えた方がいい。それと、「例えば」の続きで、「保育園入園時に毎年全保育園児に配布する」というのは、保育園児か、保育園児の保護者か。

A委員

保育園児を通して保護者にとということです。

議長

柏崎フォーラムは現在やっていないということだが、どうするか。最初の「特に～できない中、」までを消したとして、内容的に大丈夫か。それとも、現在の状況を踏まえた活動などを入れた方がいいか。特になくとも文章はつながると思うが、なくても良いか。

(全員了承)

この文の一番最後の「期待しています。」を「期待している。」に変えてください。

## 基本目標Ⅰ：男女共同参画への理解の促進、重点目標2：男女平等を推進する教育・学習の充実

議長

資料の5ページです。意見を伺います。

一番最初の「学校教育の現場において」から始まるところで、2行目の「男女共同参画の現状認識力が高まった結果としての数値ではないか。」がわかりにくいので、参考資料にある文をそのまま入れた方がいい。「男女共同参画の認識が高まっているからこそ、現状認識力が高まって、数値が低くなっている。」としないと捉え方が難しい。平等であると思っていたものが、認識力が高まったからこそ、現状を見たときに平等ではないと気づけているということを言いたいのだと思う。書いていただいた文のままか、これを生かした文の方がわかりやすい。そうすると、上の文と一緒にくくりにしない方がいいと思うので、別々にした方がいい。それと、真ん中の「男女別のスポーツで」のところ、「男女で競う」とあるが、男チームと女チームで競うというふうにとれてしまう。男女混合ということなのか、ここがはっきりしない。

A委員  
議長

そのとおり、混合です。

そこをはっきりしないと、男と女でどちらが強いかということになってしまう。その下の「アンケートの意見の中に」の、最後の「情報伝達の仕方、周知、啓発を引き続きお願いしたい。」で、啓発、周知はわかるが、「情報伝達の仕方」は「情報伝達の工夫」とか「情報伝達の検討」がいいと思う。

それから、上から2番目の「母体が異なるとはいえ、」の「母体」というのはどういうことか。

事務局  
議長

欠席委員です。

ここも後で確認してください。

自分の意見がこんな思いで書いたのではないということが大事なので、何かあれば発言をお願いします。

## 基本目標Ⅱ：男女が共に働きやすい環境の整備、重点目標3：働く場での男女平等の推進

議長

8ページです。まず、質問についての回答を事務局に求めます。

事務局

『事業No.15の「重点目標に対する効果・成果及び課題」欄中、「課題」で「周知の機会を増やしながらか継続することが必要」とありますが、ホームページ以外で周知させる機会はどんな場が考えられますか。』という質問です。商業観光課の各種労働関係法令等の周知啓発ということで、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、女性活躍推進法などを市民や事業所に周知するという内容です。そこにホームページで周知するという回答が出ていたかと思う。そのほかとして、商業観光課と人権啓発・男女共同参画室で企業訪問をし、ワーク・ライフ・バランスの話をしたり、事業所の様子を伺ったりする機会がある。その際に市で行っている助成金などと合わせてPRする。また、セミナーを開催する際に、セミナーの最後に周知する時間を設けてPRするということが考えられる。

もう1つ、資料には記載していないが、上から4つ目「中小企業等女性活躍推進事業助成金」のことが書いてある。参考資料にはカッコ書きで書いてあるが、『助成金として市は利用件数をどのくらい想定しているのでしょうか』という記載があった。これは、市の助成金で女性の従業員のために職場環境を改善する中小企業等に助成をしており、職場環境の改善や女性向けのキャリア研修の補助ができるものです。最大40万円を助成する事業で、予算枠200万円に達した時点で終了になるので、マックスで5件を見込んでいることになる。

議長

意見を伺います。

一番上の「効果・成果があったとされているが」というところの主語は何か。

事務局

各課で書いている評価だと思う。

議長

各課でそれぞれ事業について書いている評価のことであれば、「各課での事業に効果・成果があったとされているが、」にした方がいい。4番目は、いろんな意見を足してあり、文が長いので、途中で切った方がいい。例としてあげるなら、

3 行目の「一般市民にも周知してほしい。」で切って、「その結果、活用が広がり、職場環境がよりよい方向に進んでいくと良い。」とすれば、文章が切れる。

## 基本目標Ⅱ：男女が共に働きやすい環境の整備、重点目標 4：ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進

議長 10 ページです。まず、質問についての回答を事務局に求めます。

事務局 1 点目は、『ハッピー・パートナー企業は登録後にきちんと取り組みがなされているのか確認などはしているのか』ということで、ハッピー・パートナー企業の登録は県で行っている。取組については県のホームページで状況が公表されている。市としては、商業観光課と人権啓発・男女共同参画室で企業回りに行った際に聞き取りなどを行っている。

2 点目は、『事業№.32 の「令和 2 年度実績」欄、「一時預かりは 15 園実施」とある「令和 3 年度事業計画」は 12 園となっています。これはどういうことか』ということで、保育園での一時預かりの件です。減った理由になるが、令和 2 年度が公立 8 園、私立 7 園で 15 園、令和 3 年度が公立 7 園、私立 5 園で 12 園ということで、公立で 1 つ減り、私立で 2 つ減っている。公立は、令和 3 年度から中鯖石保育園と南鯖石保育園が統合したが、新たに鯖石保育園で継続している。私立は、なかよし保育園とふたば保育園が利用者が少なくて休止したということで 2 園減っている。

議長 意見を伺います。

上から 5 番目の「コーディネーター派遣事業は」で、「精神的にも調和のとれた事業展開を望む」という「精神的」というのはどういうことか。

事務局 欠席委員です。

議長 後で確認してください。

その下の「取り組んでいただきたい」を「もらいたい」にした方がいい。

事務局：室長 自身で書かれた意見に対する補足でも結構ですので、ご発言いただけるとありがたい。一番下に書かれている病児保育は、柏崎総合医療センターで 10 月からすでに実施されている。

議長 それはいいニュースです。

## 基本目標Ⅲ：あらゆる分野での男女共同参画の推進、重点目標 5：政策・方針、意思決定過程への女性の参画拡大

議長 意見を伺います。

2 番目で、「ロールモデルとなりづらい」は「なりにくい」の方がいい。

その 2 つ下で、「女性登用率が上がり効果は出ていると思います。」を「思う。」にして、その下の「市の審議会の女性登用率」で、「ぜひクリアしてほしい。」はちょっとわかりにくいので、「ぜひ目標を達成してほしい。」にした方が、よりはっ

きりする。その2つ下の「単純に引っ張り上げるだけでは、ごく一部を担う人と多数の身の周りのことに集中される人の距離は縮まらない。」というところが、良く理解ができなかった。

B 委員            データに基づかないところもある。私の印象として、例えば、今日のニュースで言えば、女性議員で代表にまでなるような方が出る一方で、子育てなどに集中される方もいて、ごく一部の方とその他大勢の方という印象がある。女性の本音としてどうなのかはわからないが、一つの見立てとして、「ああはできないよね」といったものがあるのではないかな。私たちも一緒に支えようという中で、女性が活躍されれば、全体として、女性が進出されていくのではないかなと思う。ロールモデルというか、私たちもできるんだという醸成をするにはどうしたらいいのかという思いで書いた。よりわかりやすい表現があれば修正してほしい。

議長              「単純に引っ張り上げる」というのは、数を増やすというだけではなく、一部の人がやっている。そして、かたや生活のことなどで参画できないというような人がいる。そこを全員参加してもらうことが大事なので、そのために私たちもできるのではないかという意識を持ってもらうためのことをしたらどうかということか。

B 委員            そのとおりです。

議長              その下の「東京オリパラ組織委員会前会長の女性蔑視発言のように」と、わかりやすいが例を入れるべきか。

C 委員            入れない方がいい。

事務局            なくすということでよいか。

議長              「東京オリパラ～発言のように、」までをなくす。

事務局            女性登用のところで、上げた方がいいという意見と上げることに意識すぎるのはどうかという2つの意見があるが、そのままでいいか。

議長              皆さんの意見なので、審議会での統一ということを考えなくても良ければ、両方の意見があってもいいと思うがどうか。あえてここで審議会としてどっちというより、1つ1つ皆さんの貴重な意見なので、確かに女性登用に関しては積極的にとというのはもちろんあるが、それを意識しすぎるのはと思われる方も、もちろん市民にもいて、いろいろな意見を上げていくのがいいと思う。

下から2番目の「さまざまな価値観を」で、「性別でなく、あくまで個人。共同参画。」を他との兼ね合いを見ると、例えば、「性別でなく、あくまで個人による共同参画が前提である。」とすれば、文章になる。

他にないか。いろんな意見があって良い。

### 基本目標Ⅲ：あらゆる分野での男女共同参画の推進、重点目標6：地域活動等における男女共同参画の推進

議長              15 ページ、16 ページです。意見を伺います。

C委員 16 ページの 3 行目の「町内の班という」は前の文と一緒になのか。参考資料の方ではわかれている。

議長 一緒にした感じに見えるけれども、改行してあるようにも見える。

C委員 一緒でもいい感じもするが、改行されているのでどうなのか。

議長 一緒に作った感じだ。

事務局 一緒でおかしくないか。

B委員 一緒にしても問題ないと思う。

議長 では一緒にしてください。

15 ページの下から 4 番目の「最近国内でも災害が多い」というところの文が長くてわかりにくい。2 行目を「もっと増えると良いと感じる。しかし、」にした方がいい。その次の行の「女性は何がやれて」は、公的文書では「できて」がいい。

**基本目標Ⅳ：男女の心とからだを守る環境づくり、重点目標 7：配偶者等からの暴力の防止と被害者の保護及び自立支援（柏崎市DV防止基本計画）**

議長 18 ページ、19 ページです。まず、質問についての回答を事務局に求めます。

事務局 19 ページで、質問でないことも薄い文字にしてある。表現を確認したい。まず、真ん中の『男性DVは5人に1人いるとのこと、男性相談員の存在はありますか』ということで、今現在子育て支援課で相談を受けているが、男性相談員としてはいない。現状は女性相談員が男性・女性どちらも相談を受けているということで、男性からの相談もある。ちなみに昨年度、相談全数が実人数で 121 人、そのうちDVの相談が実人数で 54 人、相談全数の中で男性からの相談が 15 人、そのうちDVの相談が 3 人です。今年度 10 月末現在で相談件数が 79 人、そのうち男性からの相談が 6 人、そのうちDVの相談が 2 人です。これは昨年からの継続の相談ということで、夫婦間のトラブルや親子トラブルの相談がある。

議長 その上の「ワクチン接種にしても」というところは、どういう扱いにすればいいのか。

事務局 そこをどう載せれば良いか迷った。載せるとしたらこのままでよいか。一番下の「データはDV相談件数が必要」というのは、こちらで掲載すればよいことで、ここに載っていないでもいいと思う。

議長 ではこれは載せないということですね。

「ワクチン接種にしても」で、これは最後が「考える」という意見というか、感想で終わるのか。だからこうした方がいいというのがいいか。だからこうしてくださいというところまでは書いてないので、もし載せるのであれば、そこまで書いた方がいいのか。もしくは、感想でしたら載せないでいいか。書いた委員はいるか。

D委員 私ではないが、もしかしたらDVで避難をされている方が接種をするときに、あまり人に会いたくないということかなと思った。配偶者等からの暴力の防止と

被害者の保護という中では、避難されている方はいろんな面で困ることが多いので「公に対する個人の信頼が大切」ということかなと思った。

議長 追跡されたりしますね。

D委員 被害とかあるので、そう思った。

議長 そうすると、入れるとすれば、「公に対する個人の信頼が大切なので、その配慮等をしっかりとお願いしたい」ということを入れれば良いか。

D委員 ワクチン接種という言葉が最初にあるので。

議長 それだけとは考えにくいかな。ここに書いてあるということは、やはり被害者の方の立場なのか。

D委員 ワクチン接種や検診などの場においてという感じで、どう書いたらいいのかな。

議長 せっかくの意見なので、意図を伺って入れたい。事務局で確認をしていただきたい。とりあえずここは後にして、他のところで何かあれば伺います。

上から4番目の「コロナ禍もあり」の2行目の「地域（近隣住民）から積極的な情報提供がいただけるよう検討が必要ではないか。」の「いただけるよう」を「得られるよう」にした方が良い。それから、下から4番目「DV相談窓口に関して」で「悲しい事態が一つでも多く減っていき、限りなくゼロに近くなることを願っている。」というところが感想に近いので、言葉を変えたらどうか。例えば、「悲しい事態が一つでも多く減っていき、限りなくゼロに近くなるように、〇〇してほしい。」とか、「限りなくゼロになることを目指してほしい。」という要望になる形にすると、感情的なものではなくなるので、そこを変えて入れていただいた方が良い。ここはいろいろな意見が出て、事務局の方も苦労してまとめて、非常に努力のあとがよく見える場所だが、自分の意見を特によく見ていただきたい。先ほどのワクチン接種のことについて、委員の方がもし分かれば確認してほしい。

事務局：室長 意図をもう一度確認させていただき、文言を変えさせていただく。

議長 入れられるように、文言を変えていただきたい。

#### **基本目標Ⅳ：男女の心とからだを守る環境づくり、重点目標8：男女の性の尊重と健康支援**

議長 21ページ、22ページです。まず、質問についての回答を事務局に求めます。

事務局 『事業No.57の「効果・成果」の「本来対象年齢ではない方にクーポン券を配布した」とあるのは、「国の無料クーポン事業」のものを対象年齢でない方に配布したということなのか。検診の周知と受診機会拡大の効果があったということで有効だと思うが、事業内容がよくわからない。』ということで、健康推進課の子宮頸がん検診と乳がん検診になります。まず、市でやっている対象者は、子宮頸がん検診が20歳以上の女性で、偶数年齢の方と奇数年齢で前の年に受診していない方が対象になります。乳がん検診が40歳以上の女性で、偶数年齢の方と奇数年齢の方で前の年に受診していない方が対象になります。ここででてくる「その他に国の無料クーポン」というのが、21歳の方と41歳の方に配布をするが、こ

こちらの年齢になる方については、市から検診の意向調査の通知を送らせていただき、受診を希望する方にクーポンを配布している。市の検診の他に、このクーポンの方が対象になるので、その分多くみれるという意味合いです。

議長 本来対象でないのに、市がお金を出して検診をしているということではないということか。

事務局 国の無料クーポンが出る方については、受診した分について国から補助がでる。

議長 上から5番目の「一昨年度から市内中学校数校で、SOSの出し方講座を開催していただいた。」は、「SOSの出し方講座が開催されている。」にした方が良い。

ここにも下から3番目に「ワクチン接種・検診は、公に対する個人の信頼が必要」がある。同じ方が書かれていると思うが、そうすると、ここは一般向けのことを言っていて、先ほどのところはDVなどの相談者のことを言っているのか。同じことを2つのところに書いているということは、対象者というか、想定者が違うのだと思う。

事務局 B委員から書いていただいたが、今確認をしたら、目標7には載っていなかった。

議長 では、19ページの方は消して、21ページの方が生きるということです。

事務局 B委員は、「ワクチン接種にしても、検診にしても、公に対する個人の信頼が大切なのではないかと考えています。」と書いており、ここでは「必要」となっているので表現が違う。

議長 大切なので、〇〇してほしいにするか。

B委員 自分で書いたが、具体的にどうすればいいかがちょっと見えにくい意見だと、改めて見直して思う。

議長 でもすごく大事なことです。

B委員 大事なのはわかるが、どうすればいいかというのが、残念ながら浮かばない。

議長 これはすごく大事なことなので入れたいと思うが、皆さんどうか。どういうふうに文を作ればいいか。例えば、「ワクチン接種・検診は、公に対する個人の信頼が基となるので、丁寧な説明と市民の立場に立った方向でしてほしい。」みたいな感じだとか。

B委員 非常に助かる。そのような感じだと伝わりやすいなと思う。

議長 ではそんな感じで。

A委員 協議をしたので、その意見を19ページの方にも入れてもいいのではないかとこちらもすごく大切なことだと思う。

議長 確かにそうです。こちらはDVの被害者の方に特化しての対応で、19ページにもワクチン接種や検診のことについても入れましょうか。

事務局 ここはDV被害者というような感じの言葉も入れてということか。

議長 それも入れて、DV被害者にとっては、秘密重視や身の安全を守るのが必要なので、特別な対応が必要だというような感じになる。



D委員 住民票の問題とか、いろいろな問題がひっかかってくる。すでに対応されていると思うが、そのあたりで文章が作れば良いと思う。

議長 そういう方は、疑問や不信感を持ってしまう。切実なのだと思う。

#### 基本目標Ⅳ：男女の心とからだを守る環境づくり、重点目標 9：困難を抱える人への自立支援

議長 24 ページです。意見を伺います。

「ひとり親」の「ひとり」はひらがなが普通なのか。

事務局 そうです。

D委員 下から 2 番目で、最初の方の「障害のある人が一般就労するための受け皿として、企業側等への働きかけ（理解促進）がされているのか。」と書いたが、これは障害のある方たちが決まっているところで勤めているのを見て、もっと広がらないものかと思った。そういう働きかけをたくさんしていて、やっぱりそこしかないということなのか、その辺の疑問があったので書いた。ただ、その後の文章とちょっと趣旨が違う気がする。

C委員 それ以降を私が書いたが、最初の方にこういう文を書いたかなと思っていた。趣旨が違うと思う。

D委員 私は自分が理解できれば、文をとってしまってもいい。

C委員 文を別々にすればいいと思う。

議長 文を分けて、さらに、「されているのか。」の後に、特定の企業だけが雇用をするような状況が続いているとすれば、それを何とか改善して、他の企業・事業所でも雇用を促進するようにしてほしいということを入れますか。

D委員 雇用企業を広げていってほしい。単純に疑問だったので、状況を踏まえて、文章を作っていただければありがたい。

議長 まとめてわかりやすい文章になっているので、自分の書いたものと意図が違うというところがなければいいと思うがどうか。

重点目標 9 まで終わったが、全体を振り返ってみて、言えなかった部分があるとか、他の方が書かれた意見を見て、プラスするところがあればお願いしたい。

ここから大事な作業になるが、事務局が修正をして、最終的に評価書を出すときに総評を表紙につける。前回、去年のものを皆さんに配布してあるが、この総評に審議委員の全体的な強く伝えたいメッセージを書く。ちなみに去年のものを読んでみると、『総評。柏崎市における男女共同参画を推進するための取組は、毎年着実に進められており、市民意識調査の結果からその成果が出ていると考えられる。特に、職場において男女が平等であると思う人の割合の増加やハッピー・パートナー企業への登録数の増加から、女性の就労環境の改善が図られていることがうかがえる。一方で、学校教育の現場において男女が平等であると思う人の割合が減少している。学校教育での男女平等の意識付けはで

きていると思うが、改めて現状の確認と原因の分析が必要である。取組自体は、今後も継続されることが望まれるが、SNSを利用しての発信やオンライン研修など、今の時代に合った視点や方法で常に改善を図りながら進めてほしい。今後は、次頁以降に続く審議会委員の評価を含む二次評価書を御覧いただき、事業の参考にしていただきたい。』ということで、学校教育の現場において危惧されることと、それから時代にあった発信の仕方、SNSとかオンライン研修にも力を入れてほしいという2点を強く推した総評だった。今回の私たちはどこを強く伝えるか。ここは特に重点的に力を入れてほしいというところ、また全体的に、ここを伝えてほしいというところをあげていただきたい。ここは一人ずつ意見をお聞かせいただく。

A委員 教育の現場における男女平等を推していきたい。評価にも書いてあるが、やはり小さい時や小学生・中学生の時から、人を思いやる心が男女平等にもつながるという思いが強い。教育学習の充実について。

議長 そうすると情操教育という言い方でもいいか。要するに、平等平等だけでなく、思いやる心もあわせて教育に重点を置いてやってもらいたいということですね。

A委員 そのとおりです。

E委員 昨年の総評が素晴らしく良いので、これを肉付けすれば良いと思う。

C委員 重点目標9を推したいところだが、重点目標4のワーク・ライフ・バランスは目標値に現状値が達しているのか。目標値が50%で令和元年度が18.2%だが、この内容についてはよくなっているのか。

議長 9ページのワーク・ライフ・バランスについて内容を知っている人の割合のところか。

C委員 現状値が目標値に達していないのかなと思った。

B委員 微増してはいるが、目標値からはかけ離れている。

議長 そうですね。このワーク・ライフ・バランスについての周知、そして職場環境の整備というところは、明らかに目標値とかけ離れている。

B委員 重点目標5の市の審議会等の女性登用率40%について、意見が公に提供されて反映されるということが大切だと思うので、ここをちょっと考えてほしい。

F委員 今回初めて参加して、全てにおいて、改めて文章や数字で見て、知るいい機会になった。どれも全部大事だったが、一番注目したのは、せっかく数年かけて計画して、今まで継続してやってきた中で、現状値が前回値よりも低くなっているのが問題だと思う。項目で2個か3個くらいあったが、中には今の現状をすぐ改善できないというところもあるので、やはり未来につながる子どもたちの学校教育というところから数年かけて入っていけば、全体がひきあがるのかなと思う。

D委員 昨今いじめ問題がすごく取り上げられていて、予想よりも大変な状況が水面

下にあるのではないかと危惧される。皆さんが言うように、そこは避けて通れないというか、強く推したいところだと感じている。それから、もう1つ、地域活動の方に目が行く。身近なところから男女共同参画の推進を出発すると他のところにつながりやすいと感じる。どういう言葉がいいか浮かばないが、一般の方が聞いた場合に、高齢者も多いので、何かいい言葉があると興味を持っていただけるかなと思う。ワーク・ライフ・バランスももちろん大事だが、高齢者の方にも目を向けてほしいと思う。

議長 確かにそうだ。

D委員 元気のある女性はいっぱいいるが、一步踏み出せない部分が結構ある。

議長 いかに促して、参加をしていただくかということですね。

G委員 D委員と同じことを言おうと思っていた。うまく言葉にできないが、仕事、家庭、地域、教育がみんな結局つながっているということで、どうまとめてい

議長 地域での活動を子どもが見て、また学校で教育されて、その循環です。そうすると、社会の循環を鑑みながら進めてほしいということですね。

E委員 地域はとても大事で、災害などの時に、女性が適材適所で、地域で活躍できるといいなと思った。

議長 確かに災害の時、女性の力は大事だと言う。男性にはわからないところを女性なりの考えでうまく回るといいうところもあり、大切です。

私はやはり教育に身を置いている人間としては、前年度から引き続いて学校教育をずっと継続的に見てほしいところだと思う。あとは、ヤングケアラーなどが最近よく話題になるが、そういう水面下で見えない困窮な状況にある人をどう救い上げていくかということも大事だと思う。それは女性に限らずです。そういう声を上げられない人たちに、どう手を差し伸べたらいいのかという方法を工夫するということと、その実態がわかったら、すぐに対応ができるような体制を整えていくということを望んでいる。

あとはみなさんどうか。初めての委員も多いので、会議でどういうことをするかを全く想像がつかないままにきていて、いきなり意見を言えということで非常にこちらでも申し訳なかったと思う。今年度はこういう感じだと思っていただき、来年度はまた同じことをします。7月と11月頃です。来年度は、どんどん意見を言うという感じでいていただければと思う。

総評について意見が出たので、事務局でまとめていただきたい。

## (2) 令和3(2021)年度事業計画について

(事務局から資料2について説明)

議長 今回配布したものに、実績などがついて、前回配布したようなA3版になったものを7月にまた皆さんと一緒に見ることになる。これはそのおおもとです。

これを今、市で一生懸命事業を進めており、評価をつけたものが来年配布されるので、ぜひ熟読いただきたい。そして、今回のものはどうなるかを説明してください。

事務局

先ほど資料No.1で評価・意見いただいたものを修正させていただき、できたものを委員の皆さんに郵送で送らせていただく。中身を確認していただいて、ご意見があれば伺い、また修正をする。最終的には、意見をまとめたものを会長と副会長に確認させていただき、完成したい。完成したものは、審議会委員と事業を実施している担当課にも配布する。ホームページでも公表させていただく。11月中旬に完成したいと思う。

## 6 その他

・次回審議会の日程について

事務局：室長      来年度、令和4年の7月下旬から8月上旬を予定している。

## 7 閉会あいさつ（副会長）